



「食料・水・環境」
分野の課題解決で、
低炭素社会へ。

エコ・ファーストの約束

～ 環境先進企業としての地球環境保全の取り組み ～

平成26年6月18日

環境大臣 石原 伸晃 殿

株式会社クボタ

代表取締役社長 木股 昌俊

クボタグループは、食料・水・環境の分野で、社会の発展と地球環境の保全に貢献する企業グループでありたいと考え、地球環境の保全を事業経営の最重要課題と位置づけ、以下の取り組みを進めてまいります。

1 循環型社会の形成に向けた取り組みを積極的に実施します。

- (1) 国内外のクボタグループの生産事業所において廃棄物の3 R (Reduce・Reuse・Recycle)の取り組みを推進し、生産高当たりの廃棄物排出量を2008年度比で2015年度に14%以上削減します。
- (2) 廃棄物の再資源化を推進し、2015年度に国内生産事業所が排出する廃棄物の再資源化率を99.5%以上に、海外生産事業所の再資源化率を90%以上にします。
- (3) 国内外のクボタグループの生産事業所において、水の3 R (Reduce・Reuse・Recycle)の取り組みを推進し、生産高当たりの水使用量を2008年度比で2015年度に21%以上削減します。

2 地球温暖化の防止に向けた取り組みを重点的に実施します。

- (1) 国内外のクボタグループの生産事業所において、生産高当たりのCO₂排出量および生産高当たりのエネルギー使用量を2008年度比で2015年度に14%以上削減します。
- (2) 長期目標として2020年度に、国内クボタグループのCO₂排出量を1990年度のクボタ本体生産事業所の排出量(54.4万トン)比で25%削減します。
- (3) 上記目標達成のため、生産設備・空調機器・照明機器等の高効率化、生産設備の燃料転換、建物や設備の高断熱化、太陽光発電の導入、エネルギーの見える化とムダ取り、廃熱回収等、利用可能な最先端技術の導入を最大限実施します。

3 大気環境への負荷低減に取り組めます。

国内外のクボタグループの生産事業所において、VOC※の生産高当たりの排出量を2008年度比で2015年度に21%以上削減します。

※削減対象VOCは、キシレン、トルエン、エチルベンゼン、スチレン、1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼンの6物質とします。

4 環境配慮性の高い製品の開発に取り組めます。

- (1) 製品の開発段階において環境性能の向上とライフサイクル環境負荷の削減に取り組み、エコプロダクツ認定製品※の売上高比率を2015年度に40%以上にします。
※エコプロダクツ社内認定制度で基準をクリアした製品
- (2) 低炭素型製品・サービスの提供による温室効果ガス排出削減の効果を2015年度までに定量的に把握し、顧客等に積極的に情報提供を行います。

5 生物多様性の保全のための活動を推進します。

- (1) 生物多様性の保全のための活動指針に基づいて、事業活動に伴う環境負荷や環境リスクを適切に管理するとともに、事業所内の緑化やビオトープの設置を通して、自然環境の保護を推進します。
- (2) 社会貢献活動「クボタeプロジェクト」の耕作放棄地再生支援活動や里山・森林の保全活動などを通して、自然環境の保護を推進します。

株式会社クボタは、上記取り組みの推進状況を確認するとともに、その結果について環境省への報告及び事業・CSR報告書などによる公表を行ってまいります。

For Earth, For Life
Kubota